

■九州朝日放送番組審議会議事概要（10月分）

第577回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年10月13日(火) 午後3時30分～5時
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名 欠席委員数 なし</p> <p>(出席委員) 光富 彰委員長、宮田克彦副委員長 三好京子委員、松村茂雄委員 鶴 利絵委員、野田幸之輔委員 藤田ひろみ委員、古宮洋二委員</p> <p>(放送事業者側出席者名) 代表取締役社長 武内健二 常務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水透 報道局長 佐伯拓史 報道局次長兼報道部長 松延健次 報道部副部長 持留英樹 北九州支社報道制作部 田中貴啓 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 事務局員 古賀香織、松田泰久</p>
議 題	<p>テレビ番組 「テレメンタリー2015 走りだしたら止まらない～公共工事とミカン園～」 <放送日> 9月13日(日)深夜2時40分～3時10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 番組種別の公表報告（平成27年4月～9月分） 平成27年10・11月ラジオ・テレビ番組編成状況 平成27年9月視聴者・聴取者応答状況の報告
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東九州自動車道の建設を巡って、ひとりのみかん園主の長い闘いという身近な話題をジャーナリスト目線で取り上げた良い番組、これからもこのような番組を作り続けて欲しい。 ○個人の権利か公共の福祉か、といった重たいテーマをみかん園主から考えた点が良かった。 ○偏りなく、関係する様々な人を取材していて良かった。 ○さまざまな場面で臨場感があり、強制収用前という放送のタイミングも合っていた。 ○岡本さんの本音や日常生活を上手く引き出しており良かった。 などの評価を頂きました。 <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○強制収用に至ったことについては、行政の不作為や両者のコミュニケーション不足、みかん園主の主張に合理性を欠いていた、などいろいろな理由があるのだろうが、どこを一番訴えたかったのかよくわからなかった。 ○法律の知識がないと細かいところまで理解できない部分が多かった。 ○公共工事と個人では必ず公共工事が優先されると強調し過ぎではないか。みかん園主に寄り添い過ぎの内容ではなかったか。 ○県の用地課長の本音も聞いてみたかった。 ○これまでの裁判の内容を明瞭にすべきだった。別のケースでは個人が勝訴したのもあるはずであり紹介して欲しかった。 ○概要は良かったがもっと突っ込んで欲しかった。30分の番組尺では難しかっただろう。 ○「みかんの花咲く丘」は日頃から本人が口ずさんでいるのか？ などの批評や提言を頂きました。 <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どちらが正しいかを問うものではなく、公共事業の問題点という古くて新しいテーマを取り上げた。 ○「新国立競技場問題」には触発された。行政の当事者が見えづらく、県、国の担当部分の巧妙な使い分けに、ご本人が翻弄されるさまを描きたかった。 ○30分という短い番組のなかに広く浅く入れ込み過ぎた感があり、行政に対して拳を振り上げるところまでは表現出来なかった。さらに取材を続けていきたい。 ○「みかんの花咲く丘」は、ご本人のパフォーマンスである。 などの説明をしました。